

第6回 定期報告制度における 赤外線サーモグラフィによる外壁調査セミナー



国土交通省ガイドラインに基づく
正しい外壁調査の基礎を体系的に学ぶ1日

日時・場所

2026年

10/8 木 午前10時～

大田区産業プラザPiO（東京都大田区蒲田）

後援
(予定)

(一財) 日本建築防災協会
(公社) ロングライフビル推進協会
(一社) 日本非破壊検査協会
(一社) 日本建築ドローン協会

※ 順不同、敬称略

主催：一般社団法人日本赤外線サーモグラフィ協会

セミナーの目的 (Purpose)

赤外線サーモグラフィによる外壁調査の基礎を体系的に学び、制度動向に対応した正しい調査手法を身につけるための基礎講座です。

背景 (Background)

外壁調査を取り巻く環境が、近年大きく変化しています

- 国土交通省告示第282号の改正（2022年）に伴い、赤外線調査が明確化
- 国土交通省が示す外壁調査ガイドラインの重要性が増加
- QR1 ▶ 建築：定期報告制度における外壁のタイル等の調査について - 国土交通省
- 文部科学省が学校施設において赤外線調査を推奨
- QR2 ▶ 学校施設の維持管理の徹底に向けてー子供たちを守るためにー <追補版>
- 自治体仕様書で資格要件化が進む

ご参照ください

各省のホームページにリンクします

QR1



QR2



このセミナーで学べること(What)

✓ 1. 外壁調査の基礎理解（原理・メカニズム）

赤外線法の原理、浮き・剥離の発生メカニズム、熱画像の読み取り方を理解し、誤診を避けるための判断力を身につけます。

✓ 2. ガイドラインと調査プロセスの理解（制度・手順）

ガイドラインの目的・適用範囲・調査手順を把握し、事前調査から報告書作成までの流れを理解することで、実務に必要な要件を整理できます。

✓ 3. 診断精度を高める実務ポイント（気象・材質・ドローン）

気象条件、撮影角度、材質など診断精度に影響する要因を適切に判断し、地上赤外線とドローン調査の使い分けを含む、実務で確実に活かせる知識を習得します。

主な対象者 (Who)

● 本セミナーは、外壁調査に関わる幅広い立場の方にご参加いただける内容です

- 外壁調査実務者 または 一級建築士、二級建築士、特定建築物調査員
- 自治体・教育委員会の建築行政関係者
- 設計事務所・建設会社の技術者
- 外壁調査をこれから始める方
- JIS Z 2305（赤外線サーモグラフィ試験）資格取得を視野に入れている方

外壁調査の全体像とガイドラインの要点を専門講師がわかりやすく解説します

プログラム	講師
1. 外壁調査ガイドラインについて ● 外壁調査ガイドラインとは ● 赤外線法による外壁調査とは ● ガイドライン制定の背景 ● ガイドラインの説明 ・ 赤外線調査の概要、適用条件の把握 ・ 事前調査、調査計画書の作成 ・ 熱画像による浮きの判定、報告書の作成	阪上 隆英  当協会 理事長 神戸大学 名誉教授 大阪工業大学 特任教授 赤外線サーモグラフィ研究の第一人者として、(一社)日本非破壊検査協会会長を歴任。非破壊評価を基盤に、構造物診断技術の研究開発を長年推進し、業界の発展に貢献。 レベル3 委員
2. 赤外線計測の基礎 ● 赤外線サーモグラフィの原理と測定技術 ● サーモグラフィの機能・特長 ● 赤外線とサーモグラフィの仕組み ● 熱画像に影響する放射と反射 ● 熱画像の取得	小笠原 永久  当協会 理事 防衛大学校 機械工学科 教授 専門：非破壊検査・材料力学 赤外線サーモグラフィによる外壁診断や、インフラ劣化評価の研究を推進。JIS Z 2305をはじめ、赤外線サーモグラフィの資格制度や規格整備に貢献。 レベル3
3. 赤外線による外壁診断の留意点 ● 建築物定期調査の概要 ● 外壁調査の実際の手順 ● 調査機器・事前準備 ● 気象条件・材質・色の影響 ● データ記録と報告書作成	作中 隆之  (株) 東設土木コンサルタント 定期調査業務基準編集部会委員 特定建築物調査員講習 講師 当協会の外壁調査セミナー講師を長年務め、定期報告制度の指導に従事。特定建築物調査の教材作成や、基準整備にも貢献。 委員
4. 調査の実例について ● 外壁タイル剥落のメカニズム ● 赤外線法の特長と適用性 ● 撮影角度・反射・解像度の注意点 ● 地上赤外線との使い分け ● 調査事例と診断ポイント	佐藤 大輔  博士（工学） 専門：非破壊試験、赤外線法 コンクリート、維持管理 赤外線による外壁調査、ドローン、サブテラヘルツ波・電磁波レーダなどによるコンクリートの試験方法に関する研究に従事し、非破壊検査技術の高度化に取り組む。 レベル3 委員

レベル3 : JIS Z 2305 赤外線サーモグラフィ試験〈レベル3〉資格保有

委員 : 国土交通省「赤外線装置を搭載したドローン等による外壁調査手法に係る体制整備検討委員会」委員

委員 : 国土交通省「赤外線装置を搭載したドローン等による外壁調査ガイドライン作成WG」委員

定期報告制度における赤外線サーモグラフィによる外壁調査セミナー 概要

日時 2026年**10月8日**（木）10時～17時

会場 **大田区産業プラザPiO** 6F会議室

【住所】

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20

【アクセス】

- ・ 京浜急行「京急蒲田」駅より徒歩約3分
- ・ JR京浜東北線、東急池上・多摩川線「蒲田」駅より徒歩約13分

定員 会場受講：10名、オンライン受講：90名
(Zoomによるオンライン受講が可能です)



タイムスケジュール

時間	プログラム	講師
10:00～11:45	外壁調査ガイドラインについて	神戸大学（当協会理事長） 名誉教授 阪上隆英
13:00～14:30	赤外線計測の基礎	防衛大学校（当協会理事） 教授 小笠原永久
14:45～16:00	赤外線による外壁診断の留意点	(株) 東設土木コンサルタント 作中隆之
16:10～17:00	調査の実例について	博士（工学） 佐藤大輔

プログラムの内容や時間等は、変更になる場合がございます。予めご了承ください。

受講料

会 員	¥17,400.-
非 会 員	¥25,000.-
後 援 会 員	¥19,600.-

- ・ 受講料は、テキスト代と消費税10%を含みます。
- ・ 後援団体（建防協、BELCA、JSNDI、JADA）の会員様は「後援会員料金」を適用します。
- ・ お申し込み後、請求書をお送りいたします。
お支払い方法は「銀行振り込み」です。
- ・ 希望者に受講証明書を発行します。



お申し込み・お問い合わせは当協会ホームページにて承ります▶▶▶



一般社団法人

日本赤外線サーモグラフィ協会

Japan Infrared Thermography Association

URL

<https://www.thermography.or.jp>